

理事長 森 勉

約半世紀昔の神無月、北富士演習場で実施された防衛大学校1学年の野営訓練に参加した。不寝番に上番、廠舎内を巡察し屋外に出て見上げればそこは満天の星空であった。そして眼前には明け行く朝日をかすかに浴びた赤富士が、全ての星を従えて神々しく鎮座していた。ここは出雲の地かと惑うほどの、生涯忘れ得ぬ絶景であった。

わが国には古来より「七夕」や「お月見」等夜空を愛でる年中行事がある。新暦7月7日の「七夕」は梅雨のため星空を眺めることには恵まれないが、新暦8月7日の「月遅れの七夕」は豪華絢爛たる仙台七夕祭り等として盛大に行われている。

一方「お月見」は秋空のため、美しい月を見ることが出来る。それ故に月には奥床しい多くの名前がある。満ち欠けによる月の名前は、新月・三日月(眉月)・上弦の月(弓張り月)・十三夜月・満月・下弦の月(半月)等である。「お月見」の名前は、旧暦8月15日の中秋の名月(十五夜)・旧暦9月13日の後の月(十三夜)・待宵月・

十六夜月・立待月等がある。

遣唐使として異境の地で果てた阿倍仲麻呂の望郷の和歌を一首「天の原ふりさけみれば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも」

平成16年、陸自の部隊がイラクに派遣された時、国連のPKO活動ではなくわが国独自の国際貢献活動であり、戦闘服・車両等に日の丸を表示する必要があった。酷暑の中東では太陽はあまり好まれず、国旗にも月が使用されている国が多い。日の丸はひかえめに表示したほうが良いという意見があつたが、わが国を代表して任務を遂行するためには堂々と日の丸を表示し他国と区別する(文書には出来ない意味があるが)必要があるという意見が採用された。

部隊は道路の整備、給水、学校・病院の復旧等の復興支援をサーマワの人々に寄り添い誠実に実施し一人の犠牲者も無く任務を終了し撤収した。

太陽神天照大神をはじめとし森羅万象八百万の神が宿ると信じ、自然の恵みに感謝し、自然と共生することが人の定めと思ひ、時には七夕の笹に飾つた短冊に願いを込め梅雨空を織り姫と牽牛星の涙かと偲ぶ。また時には満月に竹取物語の月に昇つて行くかぐや姫を思い浮かべるといふ、縄文・弥生・古墳時代以来現代まで脈々と継承された麗しき大和心を子孫に伝えていきたいものである。